

## 講師紹介

### 井上 真紀 ■「ラブノーツ」ヴォーカル・リスナニフラスタジオ所属

#### 『Alohaの心』

多くの人々の心を魅了してやまないハワイ。訪れる者を癒し、元気づけてくれます。日本でも昨今のハワイアン・ラブームをはじめとし、ハワイの文化や自然に魅了される人が後を絶ちません。そのハワイで挨拶する時に使われている「Aloha」という言葉。きっと一度は聞いたことのある言葉ではないでしょうか。気軽に使っているこの言葉も実は深い意味を含み、人が生きていく上での価値観や姿勢、人との関わり方を表しています。現代人の多くは、ストレスを抱えて生きていると言われていて、古くから、文字に頼ることなく、想いを風、雨、花、海など、大自然に託し伝えてきたハワイの文化や歴史に触れながら、歌を通して、現代人が忘れがちな大切なものを思い出させてくれる“Alohaの心”を少しでも体験して頂けたら、と思います。



### 中村 元信 ■東京ハートライフクリニック院長

#### 『波動医療の真実』

波動医療と聞いてどのような印象と判断をお持ちでしょうか。QRSという装置を開発された中村国衛先生は「ハードウ」かなと、波動診療という名称に対して懐疑的な発言をされていました。この波動診療の診断を治療に関わるエネルギーは、物理的な波動の媒体を見出すことができず、何を媒体としているか分からず仕舞いでした。物理学で見出せない新たな波動の概念を2014年12月7日のPRA(QRSから名称改変)臨床研究会で参加先生の協力のもとに波動Xとしてまとめました。私は15年間にわたる形成外科医の診療で、床ずれ(褥瘡)の原因は目に見えない圧力なので、再発を防止するには、手術後のケアには圧力を軽減することと同じく、保存的治療(手術をせず治す)の場合も、褥瘡の局所治療により、体位変換やエアマット(受圧面積を広げることで単位面積の圧力の軽減)による除圧で、床ずれは劇的に治癒するを経験しました。波動医療の根本も褥瘡の圧力解除と同じで、目に見えない状態を診断して治療するという臨床経験を得てきました。今回は、波動医療は身体に負担をかけずに診断して治療が出来るという最新情報のお話をいたします。



### 富永 正志 ■富永歯科医院院長

#### 『生命科学と易』

易は“命”を良い方向に運べば「吉」、悪い方向に運べば「凶」として運命の鑑定を行なう。生命科学は“命”のしくみを解明し人類に役立たせようとする。共に“命”を対象にした学問である。易は紀元前3千年頃に中国三皇の一人である伏羲が考え出したものといわれている。一方、生命科学は1953年ジェームス・ワトソンとフランシス・クリックがDNAの二重らせん構造を発表したのが始まりといわれている。易の成り立ちと“命”の成り立ちとの間には共通点が多く、二つの学問が5千年の時を経てどのようにつながっているのか述べてみようと思う。



### 尾澤 文貞 ■(医)健湧会 尾澤歯科医院院長

#### 『健康長寿と噛み合わせ』

歯の噛み合わせは全身に影響します。噛み合わせが悪いとさまざまな不調が現れます。頭痛、肩こり、腰痛、高血圧、低血圧、便秘、下痢、不眠症、うつ症状、冷え性など全身に及びます。足を引きづって歩いている人、これは噛み合わせが悪いと脳の血管が詰まったり、切れたりして脳梗塞を起こすためと考えられます。最近問題になっている認知症も噛み合わせが大きく影響しています。歯がなかったり、合わない義歯を入れているため、寝たきりになっている人もいます。健康で長生きするために歯の噛み合わせを見直してみませんか。

